

市内保育施設の現状と今後の施設整備について

(1) 市内保育施設の現状と今後の保育ニーズについて

現在、市内には保育園が6園、認定こども園が11園、幼稚園が2園の合計19園あり、合わせて2,500人あまりの就学前の子どもを受け入れています。(別紙 表1)

令和5年度末には老朽化した「市立あすなろ保育園」を閉園いたしますが、その定員の減少分を補うため、民間の幼保連携型認定こども園「なごみこども園」が令和3年4月に開園いたしました。(別紙 表2)

また、令和5年度に青竜第二幼稚園が幼保連携型認定こども園に移行することで、移行前から継続して受け入れる園児のほか、保育が必要な子ども(2号認定こども・3号認定こども)についても受け入れを開始しますが、当分の間は1号認定こどもが多い定員構成になる見込みです。(別紙 表3)

現在、本市の0歳から5歳までの人口は減少傾向にありますが、西部中央土地区画整理事業や中林土地区画整理事業の進展のほか、長池においても土地区画整理事業が予定されていることから、今後数年間で宅地開発が急速に進み、市外から多くの子育て世代が流入してくると想定されています。(別紙 表4、表5)

また、女性の就業率が上昇傾向にあることや、育児休暇取得期間の短期化などにより、0歳児から2歳児の保育ニーズが高まっています。(別紙 表6、表7)

更に、現在 96 人が他市町の保育園や認定こども園を利用していることも、市内施設の潜在的なニーズと言えます。(別紙 表8)

(2) 0歳児から2歳児の状況について

現在、3歳児から5歳児の入園に関しては比較的余裕のある状況ですが、0歳児から2歳児クラスは、元々少ない人数でのクラス編成を想定しており、クラスの面積や設備面からも受け入れ人数に制限があることや、年齢が低いほど多くの保育士が必要であることなどから、既存園ではこれ以上受け入れ人数を増やせない状況となっています。(別紙 表9、表10)

現在も、0歳から2歳に関しては余裕のない状況が続いており、今後、更にひっ迫する恐れがあることから、現在3歳未満児専用施設として暫定的に開園している市立中央保育園については閉園するめどが立っていない状況です。(別紙 表 11)

(3) 市立保育園の状況について

市立保育園は、地域の基幹園としての役割のほか、園児数の調整園としての機能や様々な理由から民間園では受け入れが難しい子どもを受入れるセーフティネットとしての役割を担うこととしていますが、近年は受け入れ人数に余裕のないひっ迫した状況が続いており、その役割や機能を果たすことが難しくなっています。

そのため、老朽化している中央保育園の今後の在り方や、市立園がその役割を果たすために必要な民間園での受け皿の確保について早急に検討する必要があります。

(4) 今後の施設整備について

待機児童を出さずに市立保育園がその役割を果たせるよう環境を整える必要があることから、今後の保育施設の整備について、次のように取り組みたいと考えております。

① 新たに民間園を誘致します

新たに民間が設置・運営する保育園又は認定こども園を早急に誘致し、市全体の定員数を底上げすることで、待機児童を出すことなく、市立園がその役割や機能を果たすための環境を整えます。

② 中央保育園が担っている機能(0歳児～2歳児専用保育園)の在り方を検討します

現在、中央保育園が担っている0歳児から2歳児専用の受け皿を今後も安定的に維持する必要があることから、老朽化している中央保育園の今後の在り方について早急に検討し、今後も増加すると想定される0歳児から2歳児の保育ニーズに対応します。

表1:市内の幼児教育・保育施設数及び園児数

種別	施設数	園児数(R4.2.1 現在)
保 育 園	市立5園 、 民間1園	639 人
認定こども園	民間 11 園	1,647 人
幼 稚 園	民間2園	217 人
合 計	19園(市立5園、民間 14 園)	2,503 人

表2:あすなろ保育園となごみこども園の定員の推移

	あすなろ保育園	なごみこども園	備考
令和2年度	110人	0人	「あすなろ保育園」の閉園 と「なごみこども園」の開 園により、最終的には10 人の定員増加となる見込 み。
令和3年度	90人	60人(0～2歳児)	
令和4年度	70人	80人(0～3歳児)	
令和5年度	50人	100人(0～4歳児)	
令和6年度	0人	120人(0～5歳児)	

表3:青竜第二幼稚園の認定こども園移行後の定員

区分		予定定員
1号認定こども	3歳～5歳の保育要件のないこども（幼稚園部分）	51人
2号認定こども	3歳～5歳の保育要件のあるこども（保育園部分）	45人
3号認定こども	0歳～2歳の保育要件のあるこども（保育園部分）	29人
合計		125 人

表4:0歳～5歳人口の推移(各年12月31日現在)

年度	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
平成 30 年	598 人	599 人	600 人	563 人	579 人	578 人	3,517人
令和 元 年	562 人	586 人	578 人	589 人	561 人	568 人	3,444人
令和 2 年	554 人	558 人	570 人	571 人	577 人	555 人	3,385人
令和 3 年	545 人	538 人	538 人	550 人	567 人	559 人	3,297人

表5:土地区画整理事業の宅地開発(区画数)

事業名(事業期間)	区域	規模
西部中央土地区画整理事業 (平成27年度から令和6年度)	田尻町、堀内一丁目、蓮花寺町の 各一部	約21.0畝 274区画
中林土地区画整理事業 (平成27年度から令和6年度)	中林一丁目、二丁目、三丁目、五丁 目、上林三丁目、四丁目の各一部	約31.1畝 337区画
長池土地区画整理事業 (令和4年度から実施予定)	長池の一部	約 4.9 畝

表6:25歳～44歳女性の就業率

調査年	就業率
平成22年国勢調査	72.18%
平成27年国勢調査	75.31%

表7:0歳児から2歳児の園児数の推移(各年度3月現在)

年度	0歳児	1歳児	2歳児	合計
令和元年度	214人	358人	374人	946人
令和2年度	227人	338人	397人	962人
令和3年度	209人	377人	390人	976人
令和4年度 (見込み)	249人	341人	423人	1,013人

表8:市内在住の子どもの管外施設(他市町にある保育園等)の利用状況

	金沢市	白山市	その他	合計
平成 30 年度	40人	8人	8人	56人
令和元年度	108人	20人	11人	139人
令和2年度	95人	8人	12人	115人
令和3年度	79人	8人	9人	96人

表9:令和4年度の状況(見込み)

年齢区分	受入可能人数	園児数	余裕数
5歳児	436人	404人	32人
4歳児	454人	425人	29人
3歳児	455人	425人	30人
2歳児	432人	423人	9人
1歳児	351人	341人	10人
0歳児	257人	249人	8人
合 計	2,385人	2,267人	118人

表 10:保育士1人が保育できる園児数

	国基準	市基準
5歳児	30人	30人
4歳児	30人	25人
3歳児	20人	15人
2歳児	6人	6人
1歳児	6人	市立保育園は4人。民間の保育園・認定こども園は国の基準を超えて配置した場合に補助金を交付し、手厚い職員配置を促している。
0歳児	3人	3人

表 11:市立中央保育園の園児数の推移

年度	園児数(各年度3月現在)
平成 28 年度	40 人
平成 29 年度	46 人
平成 30 年度	45 人
令和 元 年度	46 人
令和 2 年度	52 人
令和 3 年度	47 人